

教育目標(めざす学校像・生徒像)			今年度の指導の重点
教育目標 自ら学び、考え、行動する 生徒の育成 心身ともに健やかな 生徒の育成	目指す学校... 笑顔があり元気な学校 落ち着いた学習環境 生徒の夢・目標の達成を支援する学校 自他の人権を尊重する学校 活力があり魅力ある学校	目指す生徒像 自分の夢を持ってその夢の実現 に向けて日々努力する生徒 信じ合える友達と互いに磨き 合って成長していく生徒 「切磋琢磨」	あいさつ・そうじ・時間を守るの徹底 キャリア教育を視野に入れた学校 落ち着いた教育環境の創造 校内研究 研究主題 「協同的な活動・学習を主体的に取り組む環境づくり」

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
【学力状況調査の結果】 全国 国語A、B、数学A、Bともに県平均と比べて正答率は低い。 無答率は国語Aでは県平均と比べて差は見られないが、国語Bでは若干高くなっている。 数学A、Bでは県平均と比べて無答率も高い。 県 国語では県平均と比べて同程度で、特に「漢字の読み」や「漢字の書き」の領域についてはかなり高い正答率が見られた。ただし、「書くこと」の領域では課題がある。 社会についても県平均と比べて「我が国の国土と地域の様子」の領域については高いが、「我が国の産業」や「我が国の歴史については低い。 数学、理科については全般的にすべての領域で低い。	【学習状況調査の結果】 将来の夢や目標を持っている割合が高い。 地域の行事に参加する割合が高い。 分からない問題を「友達にたずねる」割合が高い。 テレビの視聴時間、ゲームの時間は県平均と比べて若干長い傾向があるが、昨年度よりは改善された。 家庭学習の時間については前年度より改善され、県平均とさはあまり見られない。 読書については3年生(全国調査)は高いが、1年生(県調査)は低い。 3年生(全国調査)では多くの項目で、2年前(1年次の県調査)と比べて肯定的な割合が高くなっている。

成果と課題	課題に対応した改善方法
成果 小学校で漢字の読み書きの基本については繰り返し小テストなどで定着を測っているため正答率は高くなっている。 国語、数学とも1年次では「好き」「分かる」「役に立つ」の項目は若干県平均より下がるが、3年次ではかなり上回っている。これは、生徒たちが充実した授業時間を過ごした成果だと考えられる。 課題 知識・理解の力が低いため、活用の得点にまで結びつかず、無答率が高くなっている。 上記成果の充実度に対して、3年次での学力の県平均との差は縮まっていない。 これは授業のターゲット層の絞り方が、上位層にとっては不十分な内容なのかもしれない。 また、きちんと定着が図れていない。 夢や目標を始め、様々な項目の意識は高くなっているが、その考え方は甘く、現実が追いついていない。	基礎・基本を徹底し、繰り返し定着を図る。 協同(ペアやグループ)学習を取り入れ、すべての層が充実した授業の時間を創造する。 活用力、抽象的な思考の力を身につけるような質問などを授業中に取り入れる。 他の人への説明する時間を設け、自己表現力を高める工夫をする。 夢を実現するためのプロセスを考えたり、自己分析をしたりする時間を設け、さらに高い自己実現を図る。 委員会や係活動、当番活動などを通し、責任感の育成や生徒の力で最後までやり遂げる力を育成する。

取組の検証方法及び検証時期	達成目標(数値目標)
授業評価シートを計画的に活用する。 学期末に生徒及び教員にアンケートをとる。 上記結果を受けて改善方法の見直しをはかる。	家庭学習の時間で1時間以上の割合を80%以上にする。 各教科の「好き」「分かる」の割合を75%以上にする。 「自分には良いところがある」という割合を75%以上にする。